

特別支援



新型コロナウイルスに明るい兆しが見え始めた、今日この頃。子どもたちの笑顔も弾けます！！

どれにしますか？

小学部 ごっこ遊び



小学部低学年と中学年合同の生活単元学習で、「お店屋さんをしよう」を行いました。低学年のレストランで、中学年がお客さんになりました。コックさんになりきってお料理をして、友達とのやりとりも楽しむことができました。

おいしい？



中学部 きりの子バザール



きりの子バザールがありました。コロナ禍の中、久しぶりの対面での販売。分業で作った革製品をお客様に喜んでもらえるようにと、班長がリーダーシップを発揮し、中学部みんなが団結して取り組みました。高等部の先輩方との実行委員会も充実して、2つ班がテーマや目標をもって協力して活動しました。3年ぶりの対面販売はお客様の喜んでくれる顔を間近で見ることができ、大成功となりました！



高等部 きりの子バザール



恒例のきりの子バザールでは、小中学部の後輩たちや保護者のみなさんに対面販売をすることができました。お客様の喜んでくれる顔を目の当たりにすることができ、これまで努力してきたことに達成感を抱きつつ、次への大きな励みになりました。翌日には、1年間のまとめとして報告会と食事会を行いました。



支援学校より

今年度は昨年度までと比べると「ウィズコロナ」が社会に浸透し、様々な制約はあったものの、教育活動の幅が広がってきた一年でした。その中で本校は、オンラインで児童生徒や保護者をつなぐなどの工夫を凝らし、たくさんの来賓の方々を迎え、とても心温まる創立50周年記念式典を挙げる事ができました。来年度は、本校の新しい半世紀に向けて「アフターコロナ」の社会の中で、教職員がスクラムを組み、教育活動のために英知を結集し、児童生徒がさらに充実した学校生活を送れるよう邁進してまいります。

副校長 三澤明生

まきりの華22

第6号
2023年3月発行

山梨大学教育学部附属
幼稚園・小学校
中学校・特別支援学校

本年度はコロナ禍3年目を迎える中、新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に行いながらの学校生活でした。来年度から感染対策等が緩和される方向性が示されていますが、今後、地域の方と触れ合う機会をどのように設定していくか考えていきたいと思っております。

一年間、附属学校園へのご理解ご協力をありがとうございました。

幼稚園

国立大学の附属学校園には、「教育実践を研究する」という役割があります。本園においても日々の保育記録を資料として、大学と連携をしながら研究を行っています。今回は、本年度の研究成果をお伝えします。

幼保小接続への高い関心—800名を超える参加—

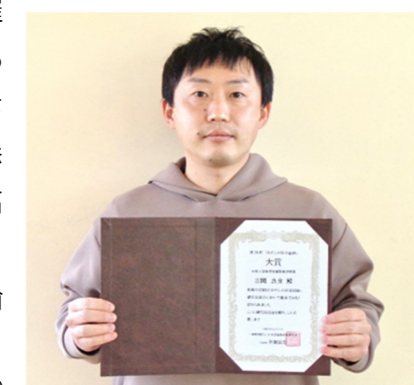
本年度は、公開研究会に白梅学園大学名誉教授であり、文部科学省の架け橋特別委員会の座長でもある無藤隆先生をお迎えし、「幼児教育の基盤としての学びから小学校を見通す」との演題でご講演いただきました。現在、幼児教育においては、小学校教育との接続に注目が集まっています。義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間が「架け橋期」とされ、文部科学省の架け橋特別委員会では、一人一人の多様性に配慮した上

で全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指し、「幼保小の架け橋プログラム」について検討が行われています。こうした課題を受けた非常にタイムリーなご講演でしたので、できるだけ多くの人にご覧いただきたいとの思いから講演の動画配信を行い、県内のみならず、全国から800人を超える方にご視聴いただきました。今後、本園においても、この学びを実践に生かし、さらに研究を深めていきたいと考えております。

令和4年度「わたしの保育記録」大賞を受賞

本園、吉岡良介教諭が、一般財団法人日本児童教育振興財団主催による、令和4年度第58回「わたしの保育記録」で最優秀賞である大賞を受賞しました。受賞論文のタイトルは、「その子らしい育ちを支えること」です。審査では、吉岡教諭の子どもへの「今」に寄り添う保育者としての姿勢や「保育者である自分」を見つめる姿勢が高く評価されました。

「わたしの保育記録」は、同財団が毎年、全国の多くの幼稚園教諭や保育士など保育関係者の実践記録を募り、審査しているものです。本園では、過去3回（第50回・第51回・第54回）、3名の教員が受賞してきています。なお、論文は右のURLからご覧になれます。<https://hoiku.sho.jp/184377/>

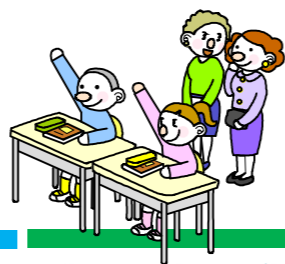


幼稚園より

令和5年度未就園児親子のための「いちごぐみ」については、毎月1回実施する予定です。4月1日から受付を開始します。くわしくは、HPをご覧ください。

問い合わせ：令和4年度附属4校園事務局（附属特別支援学校）055-220-8282
発行番号は令和3年初号からの通算番号です。

小学校



学習参観・学年総会を実施しました！

昨年度はできなかった活動を実施することができるようになりました！ 2.1~2.3

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年度はオンライン授業が行われたため実施できなかった学習参観とPTA学年総会でしたが、今年度は人数制限をしながらも、保護者の皆様に教室に入っただいて、子どもたちの学習の様子を見ていただくことができました。

やはり、実際に教室に入って子どもたちの様子を見ていただくことがとても大切なことであることを再認識しました。感染予防対策を徹底するため、まだ、全員の保護者の皆様に教室に入っただくことはできませんでしたが、3交代制で教室に入って子どもたちの様子を直に見ていた

だくことができました。子どもたちもお父さんお母さんに見てもらえるとあって、大変張り切って意欲的に学習に取り組んでいました。1年生から6年生まで、それぞれの発達段階に応じた学習内容や工夫した授業を見ていただけたのではないかと思います。

来年度は、さらに一歩進めて、より多くの保護者の皆様に、子どもたちの生き生きとした姿をご覧いただきたいと思っています。この1年間、学校の教育活動にご理解とご協力をいただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。



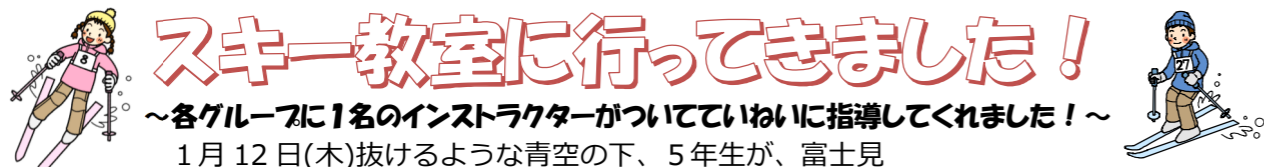
2年生の授業の様子



5年生の授業の様子



6年生の授業の様子



スキー教室に行ってきました！

～各グループに1名のインストラクターがついていよいよ指導してくれました！～

1月12日(木)抜けるような青空の下、5年生が、富士見高原スキー場へスキー教室に出かけてきました。

本校では、レベルに合わせて12のグループ子どもたちが分かれ、それぞれのインストラクターから2時間×2コマ=計4時間の指導を受けられるという、スキーに集中できる環境が十分整った環境で、子どもたちはのびのびとスキーをしました。

練習では、インストラクターの話をしっかり聞いて動きを真似してやってみたり、仲間と声を掛け合ったりしながら意欲的に進めました。途中で弱音をはいたりスキーを嫌がったりする子は一人も出ません。

これまでに経験したことのある子どもたちは格段に技術が上達し、また、初めてスキーをした子もリフトに乗ったり、ゲレンデを滑り降りたりと十分に冬のスポーツを楽しむことができました。



スキー教室の様子

給食室より



お楽しみ給食

本校では、甲府市内でも珍しい自校給食方式を取り入れており、栄養教諭が日々の献立を調理員と創り上げています。食育の観点からも大変意義深い取組です。季節の食材を活用した豊富なメニューは、子どもたちの心と体の栄養となっており、学校生活を送る上での大きなエネルギーとなっています。3学期は給食週間もあり、地元の食材を使ったメニューが盛りだくさんでした。子どもたちも毎日の給食をとても楽しみにしています。給食室でも、子どもたちに栄養バランスのとれた美味しい給食を食べてもらおうと毎日一生懸命に給食作りをしています。

中学校



県新人体育大会

県新人体育大会は、市の予選を勝ち上がって参加する種目とオープン参加の種目があります。部によっては、久しぶりの県大会参加でうれしく感じたり、成績上位を目標にしたりと様々な思いがあるようです。

結果は、卓球女子個人戦優勝・体操女子個人総合優勝をはじめ、サッカー部6位入賞・新体操種目別リボン2位などの好成績を収めることができました。しかし成績だけにとらわれることなく、大会を通して学んだことや気付いたことを普段の生活や練習に生かして日々成長することが大切です。その取組が、結果として来年度の選手権や総体での活躍につながったり、学習面や生活面の充実につながったりするのです。成長期真っただ中の中学生ですから、真剣に努力する姿が楽しみです。



バスケットボール部の試合の様子



柔道部の試合後の様子

生徒会選挙・立会演説会

12月1日(木)に選挙運動がスタートし、9日(金)に立会演説会と投開票を実施して、来年度の生徒会執行部が決まりました。

今年度の生徒会活動は、感染状況に合わせたウイズコロナの取組を、できることと我慢することを考えながらの実施でした。



朝の玄関前の選挙活動



体育館での立会演説会

来年度は、コロナ前の形に戻したり近づけたりする方法や感染拡大を予防する工夫を考えながらの取組になることが予想されます。そんな取組のリーダーを決める選挙でした。立候補した生徒は、自分の考えを理解してもらおうと、工夫した選挙運動や演説を行っていました。正副会長を中心に附属中学校の伝統を守り、発展させる活動を期待します。

席書き大会

1月6日(金)には席書き大会を行いました。生徒は学年ごとに決められた文字を一生懸命書いていました。中には中学生とは思えない達筆の文字を書いている生徒もいました。短時間で清書を完成さ



集中して、一筆一筆

せるためには、冬休みの練習が大事になります。このことは、どんなことに対しても成り立ちますので、今年は、しっかりした計画と準備をすることで、落ち着いて本番を迎えられるようお互いに頑張りましょう。



真剣に取り組む生徒の様子